・（4－1）　文化課所管事業

1. 文化財総務費
2. 指定文化財管理
3. 埋蔵文化財分布調査
4. 民間開発に伴う緊急発掘事業
5. 文化財普及啓発事業
6. 重要文化財御経塚遺跡出土品保存修理事業
7. 文化財保存修理事業
8. 文化振興総務費
9. 市美術展
10. 椿まつり事業
11. 椿サミット交流事業
12. 文化会館管理
13. 情報文化振興財団
14. 芸術鑑賞事業
15. 文化財施設管理事業
16. デジタル資料館事業
17. 埋蔵文化財整理事業・二日市地内歩道整備に伴う緊急発掘調査
18. 喜多家住宅調査事業
19. 四十万安養寺線外１路線整備事業に係る埋蔵文化財発掘調査
20. 野々市中央地区整備事業（にぎわい交流ゾーン）（文化課分）
21. 中林土地区画整理事業に伴う発掘調査
22. 西部中央土地区画整理事業に係る埋蔵文化財発掘調査

平成30年度　教育委員会事務の点検・評価表（平成29年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称	文化財総務費	所管	部	教育文化部
			課	文化課

事業の概要	総合計画該当施策	5　みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 5　文化の継承と創造と担い手の育成 1　文化財と文化資産の活用	区分	自治事務 ソフト事業 単独事業
	教育振興基本計画施策名	基本目標3　生涯学習の推進 基本的施策(3)　伝統行事・文化財の保護と活用		
	行政改革推進項目	00　該当なし	事業の開始・終了年度	事業開始 ** 年度 終了予定 ** 年度
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	文化財保護法第190条 野々市市文化財保護条例14条
	事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が文化財関係団体・市民に	事業の目的	文化財関係団体の活動促進
	事業の内容	・文化財保護審議会の開催 ・富樫氏頌徳会の活動助成 ・文化財の調査・指定	平成29年度活動実績	・文化財保護審議会の開催（1回） ・富樫氏頌徳会の活動助成 ・文化財の調査・指定（無形民俗文化財調査、二日市荒川神社絵馬の市文化財の指定）

事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	成果指標	市指定無形文化財の件数（かっこ内数値は当該年度に増加する件数）	件	4	1(0)	1(0)	1(0)

事業のコスト		区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度予算
	事業費 財源内訳	国庫支出金（千円）	0	0	0
		県支出金（千円）	0	0	0
		地方債（千円）	0	0	0
		その他（千円）	0	0	0
		一般財源（千円）	2,511	2,426	2,581
	事業費計（千円）		2,511	2,426	2,581

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画（今後3箇年の活動内容）	・文化財保護審議会の開催 ・富樫氏頌徳会の活動助成 ・無形文化財等の調査	・文化財保護審議会の開催 ・富樫氏頌徳会の活動助成 ・無形文化財等の調査	・文化財保護審議会の開催 ・富樫氏頌徳会の活動助成 ・無形文化財等の調査

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性		理由
	C	C	A　拡大・重点化 B　改善 C　継続 D　縮小 E　終了・完了（今年度中） F　統合（今年度中） G　廃止（今年度中）	市内に残る文化財の保存及び活用を図るため、文化財の調査・指定、文化財保護審議会の開催、歴史関係団体への助成を行っていく。特に無形民俗文化財の調査については継続して行い、文化財指定を目指したい。
改善点	今後の改善事項（ニーズ・課題等）	文化財の保護のため、指定の必要な文化財の把握・精査が必要である。		

平成30年度　教育委員会事務の点検・評価表（平成29年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称	指定文化財管理	所管	部	教育文化部
			課	文化課

事業の概要	総合計画該当施策	5　みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 5　文化の継承と創造と担い手の育成 1　文化財と文化資産の活用	区分	自治事務 ソフト事業 単独事業
	教育振興基本計画施策名	基本目標3　生涯学習の推進 基本的施策(3)　伝統行事・文化財の保護と活用		
	行政改革推進項目	00　該当なし	事業の開始・終了年度	事業開始 ** 年度 終了予定 ** 年度
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	野々市市文化財保護条例第8条、第13条
	事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が市民に	事業の目的	指定文化財の保存・管理とその活用である。
	事業の内容	指定文化財のうち、史跡の清掃、樹木の剪定、芝刈り、除草剤散布、殺虫剤散布を行い、管理の万全を図る。 市指定文化財水毛生家住宅の管理助成を行う。 国重要文化財喜多家住宅の管理助成を行う。	平成29年度活動実績	・市史跡農事社跡・住吉の宮・富樫館跡石碑・徹通和尚荼毘の墓の清掃（町内会等に清掃を依頼） ・市史跡富樫館跡・農事社跡の樹木の剪定と殺虫剤散布及び、守護所富樫館跡の芝刈りと除草剤散布（シルバー委託） ・市指定文化財水毛生家住宅の管理助成 ・国重要文化財喜多家住宅の管理助成及び庭木剪定 ・御経塚遺跡復元住居燻蒸

事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	成果指標	管理・助成する市指定文化財数	件	ー	8	8	9

事業のコスト		区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度予算
	事業費	財源内訳	国庫支出金　（千円）	0	0	0
			県支出金　（千円）	0	0	0
			地方債　（千円）	0	0	0
			その他　（千円）	0	0	0
			一般財源　（千円）	468	939	1,777
		事業費計　（千円）		468	939	1,777

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画（今後3箇年の活動内容）	現状のまま維持	現状のまま維持	現状のまま維持

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性		理由
	C	C	A　拡大・重点化 B　改善 C　継続 D　縮小 E　終了・完了（今年度中） F　統合（今年度中） G　廃止（今年度中）	市は所有する指定文化財の保存・管理の責務がある。史跡については、存在地の町内会等に維持管理を依頼しており、市民による文化財管理への参加は、地元の文化財への愛着を深めるためにも有意義である。
改善点	今後の改善事項（ニーズ・課題等）	継続して指定文化財の保存・管理を行っていく。		

平成30年度　教育委員会事務の点検・評価表（平成29年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称	埋蔵文化財分布調査	所管	部	教育文化部
			課	文化課

事業の概要	総合計画該当施策	5　みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 5　文化の継承と創造と担い手の育成 2　ののいちの歴史再発見	区分	自治事務 ハード事業 単独事業
	教育振興基本計画施策名	基本目標3　生涯学習の推進 基本的施策(3)　伝統行事・文化財の保護と活用		
	行政改革推進項目	00　該当なし	事業の開始・終了年度	事業開始 ** 年度 終了予定 ** 年度
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	文化財保護法第93条、第99条
	事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が開発事業者に	事業の目的	開発事業に係る埋蔵文化財の取扱について適正化を図る上で、埋蔵文化財包蔵地をより高精度に把握するため。
	事業の内容	小型掘削機による試掘調査を実施し、埋蔵文化財の有無を確認する。	平成29年度活動実績	試掘調査14件

事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	成果指標	（数値目標設定になじまない）	**	**	**	**	**

事業のコスト		区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度予算
	事業費 財源内訳	国庫支出金　（千円）	0	0	0
		県支出金　（千円）	0	0	0
		地方債　（千円）	0	0	0
		その他　（千円）	0	0	0
		一般財源　（千円）	536	517	881
	事業費計　（千円）		536	517	881

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画（今後3箇年の活動内容）	オペレーター付での試掘調査	オペレーター付での試掘調査	オペレーター付での試掘調査

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性			
	C	C	A　拡大・重点化 B　改善 C　継続 D　縮小 E　終了・完了（今年度中） F　統合（今年度中） G　廃止（今年度中）	理由	市街化が進む野々市市においては、今後も開発に先立つ試掘調査に対応していく。埋蔵文化財の確実な保護のため、埋蔵文化財包蔵地の範囲を適宜見直し、適切な分布調査を実施する。
改善点	今後の改善事項（ニーズ・課題等）	埋蔵文化財の確実な保護のため、埋蔵文化財包蔵地の範囲を適宜見直し、適切な分布調査を実施する。			

平成30年度　教育委員会事務の点検・評価表（平成29年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称	民間開発に伴う緊急発掘調査事業	所管	部	教育文化部
			課	文化課

事業の概要	総合計画該当施策	5　みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 5　文化の継承と創造と担い手の育成 1　文化財と文化資産の活用	区分	自治事務 ハード事業 単独事業
	教育振興基本計画施策名	基本目標3　生涯学習の推進 基本的施策(3)　伝統行事・文化財の保護と活用		
	行政改革推進項目	00　該当なし	事業の開始・終了年度	事業開始 ** 年度 終了予定 ** 年度
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	文化財保護法第93条、第99条
	事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が開発事業者に	事業の目的	突発的な開発事業に先立って埋蔵文化財発掘調査を実施し、事業の円滑な進行に資するとともに、郷土の歴史を明らかにする。
	事業の内容	開発によって緊急な発掘調査に対応するものである。その規模によって、年度内に対応する場合と、開発者と協議し、調査を翌年度とするものがある。 内容：現地調査、出土品整理、報告書刊行。	平成29年度活動実績	扇が丘ゴショ遺跡の現地調査（1060㎡）を実施した。なお、整理等作業と報告書の刊行は平成30年度とする。

事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	成果指標	発掘調査面積（予定）	㎡	-	400	400	400
		発掘調査面積（実績）	-	-	0	1,060	-

事業のコスト			区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度予算
	事業費	財源内訳	国庫支出金（千円）	0	0	0
			県支出金（千円）	0	0	0
			地方債（千円）	0	0	0
			その他（千円）	0	12,898	4,401
			一般財源（千円）	0	2	530
		事業費計（千円）		0	12,900	4,931

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画（今後3箇年の活動内容）	・突発的な民間開発に伴う緊急発掘調査に対応する。 内容：現地調査、出土品整理、報告書刊行。	・突発的な民間開発に伴う緊急発掘調査に対応する。 内容：現地調査、出土品整理、報告書刊行。	・突発的な民間開発に伴う緊急発掘調査に対応する。 内容：現地調査、出土品整理、報告書刊行。

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性			
	C	C	A　拡大・重点化 B　改善 C　継続 D　縮小 E　終了・完了（今年度中） F　統合（今年度中） G　廃止（今年度中）	理由	突発的な民間開発の発掘調査に対して最善の処置をとりつつ、市内埋蔵文化財の保護に努める。
改善点	今後の改善事項（ニーズ・課題等）	近年、1,000㎡前後の突発的な発掘調査依頼が増加している。 これら調査が今後も増加することを見越し、迅速に対処するための当初予算の増額と人材を増やす必要がある。		

平成30年度　教育委員会事務の点検・評価表（平成29年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称	文化財普及啓発事業	所管	部	教育文化部
			課	文化課

事業の概要	総合計画該当施策	5　みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 5　文化の継承と創造と担い手の育成 1　文化財と文化資産の活用	区分	自治事務 ソフト事業 補助事業
	教育振興基本計画施策名	基本目標3　生涯学習の推進 基本的施策(3)　伝統行事・文化財の保護と活用		
	行政改革推進項目	00　該当なし	事業の開始・終了年度	事業開始 ** 年度 終了予定 ** 年度
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	文化財保護法　第4条
	事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が市民に	事業の目的	公共の財産である文化財について、様々なイベントを通して周知を図り、地域の歴史に対する理解を深める。
	事業の内容	土器作りや勾玉作り等を当時の技法で製作体験する。 市内に残る歴史資料や、発掘調査で得た出土品などをふるさと歴史館、郷土資料館等で展示・公開する。 専門家を招いて市内の文化財に関係する講演会を開催する。 市内に文化財の説明板などを設置する。	平成29年度活動実績	夏休み古代体験2017 古代体験の実施（通年） 埋蔵文化財企画展「発掘速報!!!富奥の古代」開催 ふるさと歴史講演会「クニのはじまり」開催 郷土資料館企画展「火の文化展」の開催 文化財説明看板(10基)の設置

事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	成果指標	普及啓発事業参加者数	人	3000	2512	2145	2600
		文化財説明看板設置数　（）は当該年度の設置数	基	55	39(10)	49(10)	57(8)

事業のコスト		区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度予算
	事業費	財源内訳	国庫支出金　（千円）	1,000	1,050	1,000
			県支出金　（千円）	0	0	0
			地方債　（千円）	0	0	0
			その他　（千円）	60	60	100
			一般財源　（千円）	1,552	1,590	1,640
		事業費計　（千円）		2,612	2,700	2,740

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画（今後3箇年の活動内容）	古代体験（歴史館） 企画展（歴史館・郷土資料館） 有識者による歴史講演会 文化財説明看板活用事業	古代体験（歴史館） 企画展（歴史館・郷土資料館） 有識者による歴史講演会	古代体験（歴史館） 企画展（歴史館・郷土資料館） 有識者による歴史講演会

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性		理由
	C	C	A　拡大・重点化 B　改善 C　継続 D　縮小 E　終了・完了（今年度中） F　統合（今年度中） G　廃止（今年度中）	市民に文化財を広く啓発するため、各種企画展やイベントを継続して行っていく。
改善点	今後の改善事項（ニーズ・課題等）	文化財の説明看板設置後の活用や、例年行っているイベントのマンネリ化を避けるため、新たに創意工夫を凝らして事業をよりよいものにしていく必要がある。		

平成30年度　教育委員会事務の点検・評価表（平成29年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称	重要文化財御経塚遺跡出土品保存修理事業	所管	部	教育文化部
			課	文化課

事業の概要	総合計画該当施策	5　みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 5　文化の継承と創造と担い手の育成 1　文化財と文化資産の活用	区分	自治事務 ソフト事業 補助事業
	教育振興基本計画施策名	基本目標3　生涯学習の推進 基本的施策(3)　伝統行事・文化財の保護と活用		
	行政改革推進項目	00　該当なし	事業の開始・終了年度	事業開始　平成23　年度 終了予定　平成37　年度
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	文化財保護法31条
	事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が市民に	事業の目的	重要文化財石川県御経塚遺跡出土品の保存管理について万全を期し、貴重な文化遺産の展示公開を行い、郷土に対する誇りと文化財愛護精神を高める。
	事業の内容	重要文化財石川県御経塚遺跡出土品の4,219点について、展示及び保存・管理の万全を期すため、収蔵整理・展示作業を実施した。また、保存修理事業として、土器・土製品542点のうち257点の破損防止のため詳細な復元作業、骨角器23点の強化処理を文化庁の指導をもとに順次行う。	平成29年度活動実績	・土器13点について詳細復元を実施

事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	成果指標	重要文化財指定の土器・土製品・骨角器保存修理点数　()は当該年度の修理点数	点	280	104(14)	117(13)	128(11)
		-	-	-	-	-	-

事業のコスト		区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度予算
	事業費	財源内訳	国庫支出金　(千円)	3,100	2,800	2,800
			県支出金　(千円)	0	0	0
			地方債　(千円)	0	0	0
			その他　(千円)	0	0	0
			一般財源　(千円)	3,473	3,151	3,184
		事業費計　(千円)		6,573	5,951	5,984

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	→	↗	→
	実施計画 （今後3箇年の活動内容）	指定品の収蔵展示作業と、土器13点程度の詳細復元作業を実施	指定品の収蔵展示作業と、土器20点程度の詳細復元作業を実施	指定品の収蔵展示作業と、土器20点程度の詳細復元作業を実

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性		理由
	C	C	A　拡大・重点化 B　改善 C　継続 D　縮小 E　終了・完了（今年度中） F　統合（今年度中） G　廃止（今年度中）	重要文化財石川県御経塚遺跡出土品の保存管理について万全を期し、貴重な文化遺産の展示公開を行い、郷土に対する誇りと文化財愛護精神を高める。
改善点	今後の改善事項 （ニーズ・課題等）	該当なし		

平成30年度　教育委員会事務の点検・評価表（平成29年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称	文化財保存修理事業	所管	部	教育文化部
			課	文化課

事業の概要	総合計画該当施策	5　みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 5　文化の継承と創造と担い手の育成 2　ののいちの歴史再発見	区分	自治事務 ハード事業 補助事業
	教育振興基本計画施策名	基本目標3　生涯学習の推進 基本的施策(3)　伝統行事・文化財の保護と活用		
	行政改革推進項目	00　該当なし	事業の開始・終了年度	事業開始　平成23　年度 終了予定　平成43　年度
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	文化財保護法第113・115・116条
	事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が市民に	事業の目的	老朽化が進む国指定史跡の再整備の実施は、市民に文化財の魅力の再発見を促すとともに、文化遺産による野々市ブランドの確立と市内外に誇れるまちづくりを目指すものである。
	事業の内容	末松廃寺跡は、指定地内の発掘調査を行って、史跡の保存整備を実施する。御経塚遺跡については、末松廃寺跡の再整備後に計画を検討する。これらの事業については、組織した市遺跡整備委員会によって方針を策定し実行する。	平成29年度活動実績	中門推定地の調査（220㎡）。 整備委員会を2回開催、一般向けに発掘調査現地説明会を開催。事業計画の見直しを実施した。

事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	成果指標	末松廃寺跡　発掘調査、再整備の進捗	%	100	50	55	60

事業のコスト		区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度予算
	事業費 財源内訳	国庫支出金　（千円）	4,785	3,995	4,469
		県支出金　（千円）	992	1,074	1,192
		地方債　（千円）	0	0	0
		その他　（千円）	0	0	0
		一般財源　（千円）	3,990	3,039	3,314
	事業費計　（千円）		9,767	8,108	8,975

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画（今後3箇年の活動内容）	金堂部分の発掘調査を実施する。また再整備基本計画策定に必要な情報の収集を行う。	金堂部分の発掘調査を実施する。また再整備基本計画策定を策定する。	講堂部分の発掘調査を実施する。

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性			
	C	B	A　拡大・重点化 B　改善 C　継続 D　縮小 E　終了・完了（今年度中） F　統合（今年度中） G　廃止（今年度中）	理由	史跡公園の再整備を着手するために必要な発掘調査の成果をさらにあげていく必要がある。そのために遺跡整備委員会を開催し、委員の意見を聞きながら事業を進める。
改善点	今後の改善事項（ニーズ・課題等）	史跡公園の再整備を着手するために必要な発掘調査の成果をさらにあげていく必要がある。そのために遺跡整備委員会を開催し、委員の意見を聞きながら事業を進める。			

平成30年度　教育委員会事務の点検・評価表（平成29年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称	文化振興総務費	所管	部	教育文化部
			課	文化課

事業の概要	総合計画該当施策	5　みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 4　文化・スポーツ活動の充実 1　市民文化・市民芸術の活性化	区分	自治事務 ソフト事業 単独事業
	教育振興基本計画施策名	基本目標3　生涯学習の推進 基本的施策(2)　文化・芸術活動の推進		
	行政改革推進項目	08 協働のネットワークづくり	事業の開始・終了年度	事業開始　昭和56　年度 終了予定　**　年度
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	該当なし
	事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が市文化協会、ジュニア文化・芸術サークル、郷土芸能伝承団体、一般市民に	事業の目的	「芸術文化の香り高いまち」づくりの推進のため、市文化協会及びその加盟団体、ジュニア文化・芸術サークルの活動を支援し、自主的な運営を促す。また、じょんから踊りの普及促進や郷土芸能伝承保存を進める。
	事業の内容	市文化協会及びジュニア文化・芸術サークル、郷土芸能伝承団体への活動助成 じょんから踊り講習会の開催 文化活動団体への助成	平成29年度活動実績	・市文化協会への助成及び自主運営に向けた体制づくり ・ジュニア文化・芸術サークルへの助成（5団体） ・郷土芸能伝承団体への活動助成（24団体） ・じょんから踊り講習会の開催（各公民館・文化会館）全6回 ・文化活動団体への活動助成（4団体）

事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	成果指標	踊り講習会受講者数	人	280	197	127	200
		市文化協会加盟団体数	団体	18	16	16	16

事業のコスト		区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度予算
	事業費 財源内訳	国庫支出金　（千円）	0	0	0
		県支出金　（千円）	0	0	0
		地方債　（千円）	0	0	0
		その他　（千円）	0	0	0
		一般財源　（千円）	4,806	4,717	4,399
	事業費計　（千円）		4,806	4,717	4,399

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画（今後3箇年の活動内容）	市文化協会の自主運営 ジュニア文化・芸術サークルの広報支援 伝承団体への活動助成 文化活動団体への活動助成	市文化協会の自主運営 ジュニア文化・芸術サークルの広報支援 伝承団体への活動助成 文化活動団体への活動助成	市文化協会の自主運営 ジュニア文化・芸術サークルの広報支援 伝承団体への活動助成 文化活動団体への活動助成

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性		理由
	B	B	A　拡大・重点化 B　改善 C　継続 D　縮小 E　終了・完了（今年度中） F　統合（今年度中） G　廃止（今年度中）	市文化協会事務局のあり方について、協会側と協議検討していく。ジュニア文化・芸術サークルについては、会が継続的に活動していけるよう、会員募集等を広報等で引き続き掲載していく。文化活動支援事業においても、自主的・創造性のある団体に対して活動助成を行っていく。
改善点	今後の改善事項（ニーズ・課題等）	市文化協会事務局のあり方について、継続して協会側と協議検討していく。ジュニア文化・芸術サークルについては、会が継続的に活動していけるよう、会員募集等を広報等で引き続き掲載していく。文化活動支援事業においても、自主的・創造性のある団体に対して活動助成を行っていく。		

平成30年度　教育委員会事務の点検・評価表（平成29年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称	市美術展	所管	部	教育文化部
			課	文化課

事業の概要	総合計画該当施策	5　みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 4　文化・スポーツ活動の充実 1　市民文化・市民芸術の活性化	区分	自治事務 ソフト事業 単独事業
	教育振興基本計画施策名	基本目標3　生涯学習の推進 基本的施策(2)　文化・芸術活動の推進		
	行政改革推進項目	00　該当なし	事業の開始・終了年度	事業開始　昭和57　年度 終了予定　**　年度
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	該当なし
	事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が市民（市内に在住・通勤・通学している人、市内の絵画教室・サークルに通っている人）に	事業の目的	市民の美術活動の振興とその鑑賞の機会を設け、芸術文化の高揚を図る。
	事業の内容	美術作品の募集、審査、展示会の開催、優秀作品受賞者への表彰式を行う。	平成29年度活動実績	第6回市美術展（通算36回）作品搬入:8月24日～26日　作品展示期間:9月1日～10日　表彰式:9月10日　受賞作品数:46点　作品返却:9月10日～11日

事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	成果指標	美術展作品数	点	150	163	159	170

事業のコスト		区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度予算
事業費	財源内訳	国庫支出金　（千円）	0	0	0
		県支出金　（千円）	0	0	0
		地方債　（千円）	0	0	0
		その他　（千円）	35	35	35
		一般財源　（千円）	532	658	643
	事業費計　（千円）		567	693	678

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画（今後3箇年の活動内容）	・より多くの市民に、地域の貴重な芸術文化が鑑賞できる身近なイベントであることを周知するよう努める。 ・展示方法を検討していく。	・より多くの市民に、地域の貴重な芸術文化が鑑賞できる身近なイベントであることを周知するよう努める。 ・展示方法を検討していく。	・より多くの市民に、地域の貴重な芸術文化が鑑賞できる身近なイベントであることを周知するよう努める。 ・展示方法を検討していく

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性			
	C	C	A　拡大・重点化 B　改善 C　継続 D　縮小 E　終了・完了（今年度中） F　統合（今年度中） G　廃止（今年度中）	理由	今後も、出品数・来場者数の増加につながるよう美術展開催の周知方法などを工夫しながら継続する。会場変更に伴い、これまでとは異なる層の市民にも広く美術活動を推進していく。
改善点	今後の改善事項（ニーズ・課題等）	出品数・来場者数の増加につながるよう美術展開催の周知方法に工夫が必要となってくる。			

平成30年度　教育委員会事務の点検・評価表（平成29年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称	椿まつり事業	所管	部	教育文化部
			課	文化課

事業の概要	総合計画該当施策	5　みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 4　文化・スポーツ活動の充実 1　市民文化・市民芸術の活性化	区分	自治事務 ソフト事業 単独事業
	教育振興基本計画施策名	基本目標3　生涯学習の推進 基本的施策(2)　文化・芸術活動の推進		
	行政改革推進項目	00　該当なし	事業の開始・終了年度	事業開始　平成元　年度 終了予定　**　年度
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	該当なし
	事業の対象(誰が・誰に)	野々市市・市民が市民に	事業の目的	「郷土を愛し緑豊かな住みよいまちづくり」を推進するため、市指定花木「椿」を介して各種行事を開催し、文化的な潤いのある地域環境と「賑わい」を創出する。
	事業の内容	（フォルテ）　アート・オブ・ツバキ、椿オリジナルステージ、折り紙コーナー、お茶席、花と緑の市、特産物市、つばき食堂、囲碁・将棋コーナーなどの運営及びそれら全般に関わる実行委員会等の開催 （ののいち椿館）椿館ガイドツアーの実施 （協賛企画）　ボランティアガイドののいち里まち倶楽部による市内ツアー	平成29年度活動実績	実行委員会など会議の開催（年11回）、近隣事業所・関係者へのポスター・リーフレット配布によるまつりPR、椿作品の募集・展示、会場準備

事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	成果指標	椿まつり来場者数	人	7000	12600	7000	7000
		動員職員数	人	40	14	13	13

事業のコスト		区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度予算
	事業費 財源内訳	国庫支出金　（千円）	0	0	0
		県支出金　（千円）	0	0	0
		地方債　（千円）	0	0	0
		その他　（千円）	1,200	0	0
		一般財源　（千円）	6,974	4,336	4,336
	事業費計　（千円）		8,174	4,336	4,336

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画（今後3箇年の活動内容）	「椿」を通して、地域に親しみを持ってもらえるようなイベントを検討していく。	「椿」を通して、地域に親しみを持ってもらえるようなイベントを検討していく。	「椿」を通して、地域に親しみを持ってもらえるようなイベントを検討していく。

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性		理由
	C	C	A　拡大・重点化 B　改善 C　継続 D　縮小 E　終了・完了（今年度中） F　統合（今年度中） G　廃止（今年度中）	フォルテ会場、ののいち椿館会場の双方でのイベントの充実を図り、内容を検討していく。
改善点	今後の改善事項（ニーズ・課題等）	ののいち椿館でのイベントを充実させて、来場者がより楽しめるような方法を検討していく。		

平成30年度　教育委員会事務の点検・評価表（平成29年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称	椿サミット交流事業	所管	部	教育文化部
			課	文化課

事業の概要	総合計画該当施策	0　該当なし	区分	自治事務 ハード・ソフト事業 単独事業
	教育振興基本計画施策名	基本目標3　生涯学習の推進 基本的施策(2)　文化・芸術活動の推進		
	行政改革推進項目	00　該当なし	事業の開始・終了年度	事業開始　平成29　年度 終了予定　**　年度
	実施根拠となる分野別計画	なし	根拠法令	なし
	事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が全国椿サミット協議会加入自治体・全国の椿愛好家に	事業の目的	椿を通した交流を図り、野々市ブランドの発信を行う
	事業の内容	日本ツバキ協会加入 全国椿サミットへの参加 椿関係団体への活動補助	平成29年度活動実績	第28回全国椿サミット新上五島大会への参加 日本ツバキ協会野々市支部に対する椿サミット参加事業補助金の交付

事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	成果指標	全国椿サミット大会への参加	回	1	1	1	0

事業のコスト		区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度予算
事業費	財源内訳	国庫支出金　（千円）	0	0	0
		県支出金　（千円）	0	0	0
		地方債　（千円）	0	0	0
		その他　（千円）	0	0	0
		一般財源　（千円）	0	401	230
	事業費計　（千円）		0	401	230

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画（今後3箇年の活動内容）	日本ツバキ協会法人会費 日本ツバキ協会野々市支部への助成 サミット大会参加費等	日本ツバキ協会法人会費 日本ツバキ協会野々市支部への助成 サミット大会参加費等	日本ツバキ協会法人会費 日本ツバキ協会野々市支部への助成 サミット大会参加費等

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性		理由
		C	A　拡大・重点化 B　改善 C　継続 D　縮小 E　終了・完了（今年度中） F　統合（今年度中） G　廃止（今年度中）	第28回全国椿サミット上五島大会に野々市市から44名参加し、野々市市をPRしながら、長崎県民をはじめ全国の椿愛好会や関係自治体との交流を図った。
改善点	今後の改善事項（ニーズ・課題等）	第29回全国椿サミット御殿場大会に、より多く野々市市から参加し、野々市市をPRしながら、全国の椿愛好会や関係自治体との交流を図る。		

平成30年度　教育委員会事務の点検・評価表（平成29年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称	文化会館管理	所管	部	教育文化部
			課	文化課

事業の概要	総合計画該当施策	5　みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 4　文化・スポーツ活動の充実 1　市民文化・市民芸術の活性化	区分	自治事務 ソフト事業 単独事業
	教育振興基本計画施策名	基本目標3　生涯学習の推進 基本的施策(2)　文化・芸術活動の推進		
	行政改革推進項目	00　該当なし	事業の開始・終了年度	事業開始　昭和62　年度 終了予定　**　年度
	実施根拠となる分野別計画	該当なし	根拠法令	該当なし
	事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が市民に	事業の目的	芸術・文化の中心施設として浸透している文化会館フォルテの維持管理
	事業の内容	・文化会館及び駐車場の借地用地に対する借地料の支払い ・文化会館の維持管理	平成29年度活動実績	・借地料の支払い ・設備改修

事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	成果指標	借地として残っている用地の取得（既取得1094.2㎡）	㎡	3694.2	0	0	0

事業のコスト		区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度予算
事業費	財源内訳	国庫支出金　（千円）	0	0	0
		県支出金　（千円）	0	0	0
		地方債　（千円）	0	0	0
		その他　（千円）	372	372	372
		一般財源　（千円）	12,022	12,579	11,816
	事業費計　（千円）		12,394	12,951	12,188

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画（今後3箇年の活動内容）	財政負担を勘案し現状を維持	財政負担を勘案し現状を維持	財政負担を勘案し現状を維持

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性			
	C	C	A　拡大・重点化 B　改善 C　継続 D　縮小 E　終了・完了（今年度中） F　統合（今年度中） G　廃止（今年度中）	理由	文化会館管理上、必要な事業であり、段階的に借地用地の公有化を進めていく必要がある。
改善点	今後の改善事項（ニーズ・課題等）	文化会館管理上、必要な事業であり、段階的に借地用地の公有化を進めていく必要がある。			

平成30年度　教育委員会事務の点検・評価表（平成29年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称	情報文化振興財団	所管	部	教育文化部
			課	文化課

事業の概要	総合計画該当施策	5　みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 4　文化・スポーツ活動の充実 1　市民文化・市民芸術の活性化	区分	自治事務 ソフト事業 単独事業
	教育振興基本計画施策名	基本目標3　生涯学習の推進 基本的施策(2)　文化・芸術活動の推進		
	行政改革推進項目	00　該当なし	事業の開始・終了年度	事業開始　平成16　年度 終了予定　**　年度
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	文化芸術振興基本法 劇場、音楽堂等の活性化に関する法律
	事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が（公財）野々市市情報文化振興財団・市民に	事業の目的	市民の教養向上と芸術文化の振興を図り、豊かで潤いのあるマルチメディア都市の形成と住民福祉の向上に寄与する。
	事業の内容	指定管理者である（公財）野々市市情報文化振興財団が実施する文化会館フォルテの管理委託と施設運営及び財団の自主事業に対する補助	平成29年度活動実績	・施設の管理委託 ・施設運営と財団が行う自主事業に対する補助

事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	成果指標	文化会館フォルテ来場者数	人	160000	117674	120000	130000
		情報交流館カメリア利用者数	人	75000	71570	72000	72000

事業のコスト	区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度予算
事業費	財源内訳	国庫支出金　（千円）	0	0	0
		県支出金　（千円）	0	0	0
		地方債　（千円）	0	0	0
		その他　（千円）	0	0	0
		一般財源　（千円）	76,734	77,031	78,088
	事業費計　（千円）		76,734	77,031	78,088

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画（今後3箇年の活動内容）	自主事業の充実と新たな事業の研究	自主事業の充実と新たな事業の研究	自主事業の充実と新たな事業の研究

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性			
	C	C	A　拡大・重点化 B　改善 C　継続 D　縮小 E　終了・完了（今年度中） F　統合（今年度中） G　廃止（今年度中）	理由	財団自主事業により、マルチメディア・芸術文化に親しむ機会の提供と市民参加型の芸術文化の活性化の促進を継続して行う。
改善点	今後の改善事項（ニーズ・課題等）	財団自主事業により、マルチメディア・芸術文化に親しむ機会の提供と市民参加型の芸術文化の活性化の促進を継続して行う。			

平成30年度　教育委員会事務の点検・評価表（平成29年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称	芸術鑑賞事業	所管	部	教育文化部
			課	文化課

事業の概要	総合計画該当施策	5　みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 4　文化・スポーツ活動の充実 1　市民文化・市民芸術の活性化	区分	自治事務 ソフト事業 単独事業
	教育振興基本計画施策名	基本目標3　生涯学習の推進 基本的施策(2)　文化・芸術活動の推進		
	行政改革推進項目	00　該当なし	事業の開始・終了年度	事業開始 ** 年度 終了予定 ** 年度
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	該当なし
	事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が、市内中学生と、市内小学校5年生に	事業の目的	子どもたちに優れた舞台芸術鑑賞の機会を提供し、鑑賞能力の向上と豊かな情操の涵養を図る。
	事業の内容	1.スクールシアター:劇団芸優座「一休さん」 2.古典芸能鑑賞教室:県内で活躍する邦楽家による公演	平成29年度活動実績	1.スクールシアター　日時:6月9日13時30分開演 対象:市内小学校5年生 2.古典芸能鑑賞教室　日時:6月15日14時開演 対象:野々市中学校全校生徒

事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	成果指標	数値指標の設定になじまない	-	-	-	-	-

事業のコスト		区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度予算
	事業費 財源内訳	国庫支出金　（千円）	0	0	0
		県支出金　（千円）	0	0	0
		地方債　（千円）	0	0	0
		その他　（千円）	0	0	0
		一般財源　（千円）	534	684	978
	事業費計　（千円）		534	684	978

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画（今後3箇年の活動内容）	布水中学校:古典芸能鑑賞教室 市内5小学の5年生:スクールシアター	野々市中学校:古典芸能鑑賞教室 布水中学校:オーケストラ鑑賞教室 市内5小学校の5年生:スクールシアター	野々市中学校:オーケストラ鑑賞教室 市内5小学校の5年生:スクールシアター

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性		理由
	C	C	A　拡大・重点化 B　改善 C　継続 D　縮小 E　終了・完了（今年度中） F　統合（今年度中） G　廃止（今年度中）	小学生は5年生時に1回（スクールシアターまたは古典芸能鑑賞）、中学生は在学中の3年間にオーケストラ鑑賞教室と古典芸能鑑賞を必ず1回は鑑賞できるよう、2つの中学校が公平になるように実施していく。
改善点	今後の改善事項（ニーズ・課題等）	小学生は5年生時に1回（スクールシアターまたは古典芸能鑑賞）、中学生は在学中の3年間にオーケストラ鑑賞教室と古典芸能鑑賞を必ず1回は鑑賞できるよう、2つの中学校が公平になるように実施していく。		

平成30年度　教育委員会事務の点検・評価表（平成29年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称	文化財施設管理事業	所管	部	教育文化部
			課	文化課

事業の概要	総合計画該当施策	5　みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 5　文化の継承と創造と担い手の育成 1　文化財と文化資産の活用	区分	自治事務 ソフト事業 単独事業
	教育振興基本計画施策名	基本目標3　生涯学習の推進 基本的施策(3)　伝統行事・文化財の保護と活用		
	行政改革推進項目	00　該当なし	事業の開始・終了年度	事業開始 ** 年度 終了予定 ** 年度
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	文化財保護法第4条 野々市市郷土資料館条例第3条 野々市市ふるさと歴史館条例第4条
	事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が市民に	事業の目的	市内の歴史や文化財に関する資料を展示し歴史に対する理解を深め、住民に生涯学習の機会を提供する。
	事業の内容	市内の歴史や文化財に関する資料を展示する。郷土資料館とふるさと歴史館を管理・運営し、市民及び市外の人へ野々市市の文化を発信する。	平成29年度活動実績	・郷土資料館の管理・運営 ・ふるさと歴史館の管理・運営

事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	成果指標	来館者数(郷土資料館)	人	―	4104	3669	4400
		来館者数(ふるさと歴史館)	人	―	4152	3676	4400

事業のコスト		区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度予算
	事業費 財源内訳	国庫支出金　（千円）	0	0	0
		県支出金　（千円）	0	0	0
		地方債　（千円）	0	0	0
		その他　（千円）	0	0	0
		一般財源　（千円）	12,538	10,300	12,179
	事業費計	（千円）	12,538	10,300	12,179

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画（今後3箇年の活動内容）	郷土資料館・ふるさと歴史館の管理・運営	郷土資料館・ふるさと歴史館の管理・運営	郷土資料館・ふるさと歴史館の管理・運営

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性			
	C	C	A　拡大・重点化 B　改善 C　継続 D　縮小 E　終了・完了（今年度中） F　統合（今年度中） G　廃止（今年度中）	理由	引き続き、適切な管理運営を行っていく。
改善点	今後の改善事項（ニーズ・課題等）	展示変更等を検討する。			

平成30年度　教育委員会事務の点検・評価表（平成29年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称	デジタル資料館事業	所管	部	教育文化部
			課	文化課

事業の概要	総合計画該当施策	5　みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 5　文化の継承と創造と担い手の育成 1　文化財と文化資産の活用	区分	自治事務 ソフト事業 補助事業
	教育振興基本計画施策名	基本目標3　生涯学習の推進 基本的施策(3)　伝統行事・文化財の保護と活用		
	行政改革推進項目	00　該当なし	事業の開始・終了年度	事業開始 24 年度 終了予定 ** 年度
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	該当なし
	事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が市民に	事業の目的	電子データ化した野々市市の埋蔵文化財・民俗資料・歴史資料等を、市のホームページ上に開設するデジタル資料館において広く一般公開する。
	事業の内容	市のホームページにデジタル資料館を開設し、市が作成した文化財関係の電子データを分野別に順次紹介していくものである。 平成24年度：重文「御経塚遺跡出土品」コンテンツ作成 平成25年度：デジタル資料館開設 平成27年度：外国語コンテンツ追加	平成29年度活動実績	画像のリンク修正及び、説明文の修正 郷土資料館展示中の民俗資料の写真撮影を行い、データ整理を行った。

事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	成果指標	デジタル資料館webページへのアクセス数	人/年	1500	3409	3126	4500
		(デジタル資料館紹介ページへのアクセス数)	人/年	-	322	198	400

事業のコスト		区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度予算
	事業費 財源内訳	国庫支出金　（千円）	0	0	0
		県支出金　（千円）	0	0	0
		地方債　（千円）	0	0	0
		その他　（千円）	0	0	0
		一般財源　（千円）	130	130	139
	事業費計	（千円）	130	130	139

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画（今後3箇年の活動内容）	市内文化財等のデジタルデータ化、およびデジタル資料館での掲載。	市内文化財等のデジタルデータ化、およびデジタル資料館での掲載。	市内文化財等のデジタルデータ化、およびデジタル資料館での掲載。

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性			
	C	C	A　拡大・重点化 B　改善 C　継続 D　縮小 E　終了・完了（今年度中） F　統合（今年度中） G　廃止（今年度中）	理由	引き続きデジタル資料館のコンテンツを拡充していく。
改善点	今後の改善事項（ニーズ・課題等）	検索サイトからのアクセス数が減少しているため、SEO対策等を検討する。			

平成30年度　教育委員会事務の点検・評価表（平成29年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称	埋蔵文化財整理事業・二日市地内歩道整備に伴う緊急発掘調査	所管	部	教育文化部
			課	文化課

事業の概要	総合計画該当施策	5　みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 5　文化の継承と創造と担い手の育成 2　ののいちの歴史再発見	区分	自治事務 ハード事業 単独事業
	教育振興基本計画施策名	基本目標3　生涯学習の推進 基本的施策(3)　伝統行事・文化財の保護と活用		
	行政改革推進項目		事業の開始・終了年度	事業開始 ** 年度 終了予定 ** 年度
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	文化財保護法第94・99条
	事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が市民に	事業の目的	野々市市が調査原因となる発掘調査の出土品整理・報告書を刊行し、地域の歴史を解明する。 二日市地内歩道整備の埋蔵文化財発掘調査を実施して、円滑な整備事業に資する。
	事業の内容	野々市市が調査原因者となる埋蔵文化財発掘調査における出土品整理及び報告書刊行 二日市歩道整備発掘調査　　現地調査及び出土品整理・報告書刊行	平成29年度活動実績	

事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	成果指標	発掘調査面積（二日市歩道）	㎡	277	0	0	0
		報告書刊行	冊	2	1	1	1

事業のコスト		区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度予算
	事業費 財源内訳	国庫支出金　（千円）	0	0	0
		県支出金　（千円）	0	0	0
		地方債　（千円）	0	0	0
		その他　（千円）	0	0	0
		一般財源　（千円）	500	920	0
	事業費計　（千円）		500	920	0

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	×	×	→
	実施計画（今後3箇年の活動内容）	平成29年度で事業終了予定。ただし、調査対象が新たに発生した場合、本事業は継続する。	平成29年度で事業終了予定。ただし、調査対象が新たに発生した場合、本事業は継続する。	

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性		理由
	C	－	A　拡大・重点化 B　改善 C　継続 D　縮小 E　終了・完了（今年度中） F　統合（今年度中） G　廃止（今年度中）	
改善点	今後の改善事項（ニーズ・課題等）			

平成30年度　教育委員会事務の点検・評価表（平成29年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称	喜多家住宅調査事業	所管	部	教育文化部
			課	文化課

事業の概要	総合計画該当施策	5　みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 5　文化の継承と創造と担い手の育成 2　ののいちの歴史再発見	区分	自治事務 ソフト事業 補助事業
	教育振興基本計画施策名	基本目標3　生涯学習の推進 基本的施策(2)　文化・芸術活動の推進		
	行政改革推進項目	00　該当なし	事業の開始・終了年度	事業開始 ** 年度 終了予定 ** 年度
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	該当なし
	事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が所有者・市民に	事業の目的	喜多家においては、重要文化財指定外の酒造関係建物についても文化財としての評価が高く、その文化財的価値を明らかにする。 その上で、重要文化財追加指定を目指す。
	事業の内容	喜多家住宅の敷地内において、重要文化財として指定のなされていない酒造関係建物の文化財的価値について、建造物の専門家に協力を要請し、調査・図面作成を行う。その成果を基に、報告書を作成し、重要文化財追加指定を目的として文化庁に具申する。	平成29年度活動実績	調査報告書（案）を文化庁に提出した。追加調査等の指示を受ける。

事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	成果指標	重要文化財追加指定	件	1	0	0	0

事業のコスト		区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度予算
	事業費 財源内訳	国庫支出金　（千円）	0	0	0
		県支出金　（千円）	750	0	250
		地方債　（千円）	0	0	0
		その他　（千円）	0	0	0
		一般財源　（千円）	1,588	0	1,538
	事業費計　（千円）		2,338	0	1,788

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	→	×	×
	実施計画（今後3箇年の活動内容）	追加指定に向けての事務手続 最短の場合、追加指定へ	最短の場合、事業終了	事業終了

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性		理由
	C	C	A　拡大・重点化 B　改善 C　継続 D　縮小 E　終了・完了（今年度中） F　統合（今年度中） G　廃止（今年度中）	調査を継続して行い、重要文化財追加指定に必要な手続きを進めていく。
改善点	今後の改善事項（ニーズ・課題等）	県指定から重要文化財追加指定へスムーズに手続きができるように、県と協議を行う。		

平成30年度　教育委員会事務の点検・評価表（平成29年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称	四十万安養寺線外1路線整備事業に係る埋蔵文化財発掘調査	所管	部	教育文化部
			課	文化課

事業の概要	総合計画該当施策	5　みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 5　文化の継承と創造と担い手の育成 2　ののいちの歴史再発見	区分	自治事務 ハード事業 補助事業
	教育振興基本計画施策名	基本目標3　生涯学習の推進 基本的施策(3)　伝統行事・文化財の保護と活用		
	行政改革推進項目	00　該当なし	事業の開始・終了年度	事業開始　平成27　年度 終了予定　平成31　年度
	実施根拠となる分野別計画	四十万安養寺線外1路線整備事業	根拠法令	文化財保護法94・99条
	事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が市民に	事業の目的	四十万安養寺線外1路線整備事業予定地における道路施工に先立って発掘調査を実施し、事業の円滑な進行に資するとともに、貴重な埋蔵文化財を的確に記録保存し、郷土の歴史を明らかにする。
	事業の内容	四十万安養寺線外1路線整備事業予定地内に分布する埋蔵文化財の発掘調査を実施する。内容は、現地調査、出土品整理及び報告書刊行である。 現地調査は平成29年度で終了し、平成31年度以降に発掘調査報告書を刊行する予定である。	平成29年度活動実績	上新庄チャンバチ遺跡の発掘調査（800㎡）及び出土品整理作業を実施した。

事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	成果指標	発掘調査面積	㎡	-	2,788	900	0
		（面積未決定により目標値設定せず）	-	-	-	-	-

事業のコスト		区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度予算
	事業費 財源内訳	国庫支出金　（千円）	10,073	5,903	0
		県支出金　（千円）	0	0	0
		地方債　（千円）	0	0	0
		その他　（千円）	0	0	0
		一般財源　（千円）	8,587	5,193	0
	事業費計　（千円）		18,660	11,096	0

実施計画

年度計画 区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
今後3箇年の展開	→	×	×
実施計画（今後3箇年の活動内容）	出土品整理 報告書刊行	事業終了予定	事業終了予定

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性			
	C	C	A　拡大・重点化 B　改善 C　継続 D　縮小 E　終了・完了（今年度中） F　統合（今年度中） G　廃止（今年度中）	理由	上新庄チャンバチ遺跡の発掘調査では、新規に古墳が発見されるなど野々市市南部地域における歴史について新たな知見が得られた。今後は調査の成果をまとめ報告書を作成する予定である。
改善点	今後の改善事項（ニーズ・課題等）	上新庄チャンバチ遺跡の発掘調査では、新規に古墳が発見されるなど野々市市南部地域における歴史について新たな知見が得られた。今後は調査の成果をまとめ報告書を作成する予定である。			

平成30年度　教育委員会事務の点検・評価表（平成29年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称	文化課分（にぎわい交流ゾーン）		所管	部	教育文化部
				課	文化課
事業の概要	総合計画該当施策	5　みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3　生涯学習社会の充実 1　社会教育の充実 重点プロジェクトⅢ関連施策	区分	自治事務 ハード事業 補助事業	
	教育振興基本計画施策名	基本目標3　生涯学習の推進 基本的施策(3)　伝統行事・文化財の保護と活用			
	行政改革推進項目	00　該当なし	事業の開始・終了年度	事業開始	平成28　年度
				終了予定	平成30　年度
	実施根拠となる分野別計画	野々市市都市計画マスタープラン	根拠法令	該当なし	
	事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が市民に	事業の目的	ヒト・モノの交流によるにぎわい創出の場として、民間活力を活用して、以下の機能を集約し、一体的に整備する。 ・市民サークル等の活動拠点となる「新中央公民館」 ・市民と大学等との協働の拠点となる「大学連携拠点」 ・観光案内や特産品販売の拠点となる「商業施設」	
	事業の内容	中央地区に残る史跡や文化財を市民に周知するために、文化財の説明板・誘導板の作成・整備を行う	平成29年度活動実績	H29年度の看板製作は実施せず H30年度設置予定の看板の内容等の検討を行う	

事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	成果指標	中央地区文化財看板設置数	基	10	1	0	3

事業のコスト		区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度予算
	事業費 財源内訳	国庫支出金　（千円）	145	0	200
		県支出金　（千円）	0	0	0
		地方債　（千円）	0	0	0
		その他　（千円）	0	0	0
		一般財源　（千円）	150	0	361
	事業費計　（千円）		295	0	561

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	×	×	×
	実施計画（今後3箇年の活動内容）	事業終了	事業終了	事業終了

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性		理由
	C	C	A　拡大・重点化 B　改善 C　継続 D　縮小 E　終了・完了（今年度中） F　統合（今年度中） G　廃止（今年度中）	事業計画に則り、継続して案内板の設置を行う。
改善点	今後の改善事項（ニーズ・課題等）	事業計画に則り、継続して案内板の設置を行う。		

平成30年度　教育委員会事務の点検・評価表（平成29年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称	中林土地区画整理事業に伴う発掘調査	所管	部	教育文化部
			課	文化課

事業の概要	総合計画該当施策	5　みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 5　文化の継承と創造と担い手の育成 1　文化財と文化資産の活用	区分	自治事務 ハード事業 補助事業
	教育振興基本計画施策名	基本目標3　生涯学習の推進 基本的施策(3)　伝統行事・文化財の保護と活用		
	行政改革推進項目	00　該当なし	事業の開始・終了年度	事業開始　平成28　年度 終了予定　平成36　年度
	実施根拠となる分野別計画	野々市市中林土地区画整理事業	根拠法令	文化財保護法93条・99条
	事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が市民に	事業の目的	中林土地区画整理地区内に分布する遺跡の発掘調査を実施し、事業の円滑な進行に資するとともに、貴重な埋蔵文化財を的確い記録保存し、郷土の歴史を明らかにする。
	事業の内容	中林土地区整理事業地区内に分布する末松遺跡・上林イシガネ遺跡の発掘調査を実施する。内容は、現地調査、出土品整理、報告書刊行である。	平成29年度活動実績	末松遺跡 現地調査 面積:2,230㎡ 上林イシガネ遺跡 出土品整理 H28年度現地調査分

事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	成果指標	発掘調査面積（予定）	㎡	30,870	1,600	5,150	1150
		発掘調査面積（実績）	㎡	-	1,600	1,880	-

事業のコスト		区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度予算
	事業費	財源内訳	国庫支出金　（千円）	0	0	0
			県支出金　（千円）	0	0	0
			地方債　（千円）	0	0	0
			その他　（千円）	0	19,452	31,567
			一般財源　（千円）	0	6,703	0
		事業費計　（千円）		0	26,155	31,567

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画（今後3箇年の活動内容）	現地調査 出土品整理 報告書作成	現地調査 出土品整理 報告書作成	現地調査 出土品整理 報告書作成

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性		理由
	C	C	A　拡大・重点化 B　改善 C　継続 D　縮小 E　終了・完了（今年度中） F　統合（今年度中） G　廃止（今年度中）	中林土地区画整理地区内に分布する遺跡の発掘調査を実施し、事業の円滑な進行に資するとともに、貴重な埋蔵文化財を的確い記録保存し、郷土の歴史を明らかにする。
改善点	今後の改善事項（ニーズ・課題等）	該当なし		

平成30年度　教育委員会事務の点検・評価表（平成29年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称	西部中央土地区画整理事業に係る埋蔵文化財発掘調査	所管	部	教育文化部
			課	文化課

事業の概要	総合計画該当施策	5　みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 5　文化の継承と創造と担い手の育成 1　文化財と文化資産の活用	区分	自治事務 ハード事業 補助事業
	教育振興基本計画施策名	基本目標3　生涯学習の推進 基本的施策(3)　伝統行事・文化財の保護と活用		
	行政改革推進項目	00　該当なし	事業の開始・終了年度	事業開始 29 年度 終了予定 33 年度
	実施根拠となる分野別計画	野々市市西部中央地区土地区画整理事業	根拠法令	文化財保護法93条・99条
	事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が市民に	事業の目的	西部中央地区土地区画地区内に分布する遺跡の発掘調査を実施し、事業の円滑な進行に資するとともに、貴重な埋蔵文化財を的確に記録保存し、郷土の歴史を明らかにする。
	事業の内容	西部中央地区土地区画地区内に分布する田尻ナワシロ遺跡・田尻ジッタ遺跡・蓮花寺アカグロ遺跡の発掘調査を実施する。内容は、現地調査、出土品整理、報告書刊行である。	平成29年度活動実績	田尻ナワシロ遺跡 都市計画道路 現地調査　面積:470㎡ 出土品整理、報告書刊行 区画道路・調整池 現地調査　面積:380㎡ 出土品整理

事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	成果指標	発掘調査面積（予定）	㎡	9,260	―	910	600
		発掘調査面積（実績）	㎡	―	―	910	―

事業のコスト		区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度予算
	事業費	財源内訳	国庫支出金　（千円）	0	0	0
			県支出金　（千円）	0	0	0
			地方債　（千円）	0	0	0
			その他　（千円）	0	9,062	5,153
			一般財源　（千円）	0	2,752	5,154
		事業費計　（千円）		0	11,814	10,307

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	↗	→	↘
	実施計画（今後3箇年の活動内容）	現地調査 出土品整理 報告書作成	現地調査 出土品整理 報告書作成	報告書作成 報告書刊行

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性		理由
		C	A　拡大・重点化 B　改善 C　継続 D　縮小 E　終了・完了（今年度中） F　統合（今年度中） G　廃止（今年度中）	西部中央土地区画整理地区内に分布する遺跡の発掘調査を実施し、事業の円滑な進行に資するとともに、貴重な埋蔵文化財を的確い記録保存し、郷土の歴史を明らかにする。
改善点	今後の改善事項（ニーズ・課題等）	該当なし		

・（４－２）　学識経験者からの意見

文化振興においては、芸術・美術を鑑賞することによって市民の心の豊かさや創造性を育むことから、文化・芸術活動にふれる機会を多くするとともに、「芸術文化の香り高いまち」づくりを実践していただきたいと思います。地域の伝統芸能や伝統行事については、保存・伝承の推進と支援が望まれます。

文化財においては、郷土の歴史や文化財について市民にわかりやすく発信することが求められています。文化財企画展・市デジタル資料館の更なる充実、中央地区等における文化財説明板設置と郷土資料館やふるさと歴史館の活用、末松廃寺跡再整備の事業情報発信等による、ふるさと教育の教材の充実を推進していただきたいと思います。

・（４－３）　今後の方針

【文化振興関係】

①　優れた文化や舞台芸術に触れる機会の拡充に努めます。

②　文化関係団体を支援すると共に運営と活動の拡大を促し、市民が文化に親しみやすい環境づくりに努めます。

③　地域芸術家との協働により、若い世代や一般の方々が芸術・美術にふれることのできる機会の拡充に努めます。

④　地域に伝わる郷土芸能の保存伝承に努めます。

⑤　椿まつりにおいて、中央公園会場など各会場イベントを充実させ、市内外に向けてツバキを通したまちづくりの発信に努めます。

【文化財関係】

⑥　文化財企画展や古代体験学習、歴史講演会など、郷土の歴史を深める普及啓発事業の更なる充実に努めます。

⑦　史跡末松廃寺跡の再整備に向けた調査と整備方針の検討を進め、市民に対し調査状況等の情報提供に努めます。

⑧　子どもたちにもわかりやすい富樫氏のマンガ本『八曜の剣』を広く周知することに努め、ふるさと教育の充実と富樫氏の発信を図ります。

⑨　地域に残る各文化財について、わかりやすい説明・案内板の設置を進め、市民や観光客への周知に努めます。

⑩　郷土資料館・ふるさと歴史館の活用の推進を図ります。

⑪　喜多家住宅の重要文化財追加指定後の新たな保存活用方策等を検討し、本町通りのにぎわい創出に努めます。

⑫　市のホームページで文化財資料の公開・活用を行うデジタル資料館の充実に努め、市民に広く周知します。

⑬　重要文化財「石川県御経塚遺跡出土品」の公開展示や文化財資料展示について充実に努めます。